

静岡Pythonコミュニティイベント振り返り

Python駿河 [Unagi.py](#)

2020/11/20 Hiroshi Sano

お前誰よ

- 佐野浩士 (Hiroshi Sano) [@hrs_sano645](#)
- : 静岡県の富士市
- Job
 - [佐野設計事務所](#)
 - 自動車系機械の3D設計事務所 IT/雑務何でも屋
 - 米農家
- Community
 - : [shizuoka.py](#), [unagi.py](#), Python駿河
 - : PyCon mini Shizuokaスタッフ
 - : PyCon JP 2020 チュートリアル講師

目次

- PyCon mini Shizuoka 振り返り
- PyCon JP 2020 チュートリアル振り返り

PyCon mini Shizuoka振り返り

PyCon mini Shizuoka振り返り

- 準備: サイト作成, ロゴ, CfP,
- 予算お金関係: チケット販売、保険
- 広報関係: 広報、スポンサー
- オンラインイベント化
- 次どうする？

この辺で盛り上がってスタート

[Python駿河 勉強会 #5 ~PyCon JP 2019参加者によるビアバッシュ報告会~ - connpass](#)

準備

スタートの段階

- 会場は決まってた -> 藤枝Biviキャン
 - Python駿河やPython Boot Camp 藤枝の開催地
 - 協賛の藤枝ICTコンソーシアムさんのご厚意
- 開催日もこの辺で決まってたはず

会場



スタッフの作業環境

- Slack: 普段のやり取り
- Google Docs: 議事録や見たい情報の管理
- Google Meet: ミーティングに利用

実はほぼオンラインで運営してた

(だからオンライン開催もしやすかったと思う)

静岡Pythonコミュニティイベント振り返り Python駿河 [Unagi.py](#)

ファイル

名前 ↑

PyCon mini Shizuoka 2020 運営ミーティング #11	PyCon mini Shizuoka 2020 運営ミーティング #12	PyCon mini Shizuoka 2020 運営ミーティング #13	PyCon mini Shizuoka 2020 運営ミーティング #14	PyCon mini Shizuoka 2020 運営ミーティング #15
PyCon mini Shizuoka 2020 運営ミーティング #16	PyCon mini Shizuoka 2020 運営ミーティング #17	PyCon mini Shizuoka 2020 運営ミーティング #18	PyCon mini Shizuoka 2020 運営ミーティング #19	PyCon mini Shizuoka 2020 運営ミーティング #20
PyCon mini Shizuoka 2020 開催準備ミーティング #1	PyCon mini Shizuoka 2020 開催準備ミーティング #2	PyCon mini Shizuoka 2020 開催準備ミーティング #3	PyCon mini Shizuoka 2020 開催準備ミーティング #4	PyCon mini Shizuoka 2020 開催準備ミーティング #5
PyCon mini Shizuoka 2020 開催準備ミーティング #6	PyCon mini Shizuoka 2020 開催準備ミーティング #7	PyCon mini Shizuoka 2020 開催準備ミーティング #8	PyCon mini Shizuoka 2020 開催準備ミーティング #9	PyCon mini Shizuoka 2020 開催準備ミーティング #10

コンテンツを考える

- トークセッションをメイン
- 当初はチュートリアルセッションの案もあり
 - -> 会場の都合もあって止めることに
- スポンサーも募集してブースを用意してみたり

サイト作成



サイト作成

- 仮 -> そのまま運用（あるある）
- Github Pages + Python-PelicanでSSG構成
 - デザインはテンプレものをカスタマイズして作成
 - トーク情報はある程度スクリプトで半自動的に生成したものを入れる

ロゴ作成

- ロゴはスタッフの知り合いの方に依頼
- Slackで案を見ながら決定
- (結果的に) 今回一番お金かかった

素晴らしいロゴはこちら



Call for Paper

CfP募集で使ったツール

- Google Form, Google Sheet
- Gmail (Pycon mini Shizuoka用のアカウント作成)
- Python: プロポーサルのレビュー結果を送るときの自動生成させるために

プロポーサルのレビュー

ありがたいことに、定員以上の応募を頂いたのでレビューすることになりました
レビューの下準備

- プロポーサル情報の個人情報を除去
- Google Sheetをつかったレビュー

プロポーサルのレビュー:レビューの方法

- (+1,+0,-0,-1の4段階評価) とコメントを登録
 - PyCon JPのレビューマニュアルを参考
- 点数の合計を出してその合計でソート
- トークの応募者が重複した場合、多数決で1本にする
- トークカテゴリの偏りがないか確認

プロポーザルのレビュー:レビューの方法

- 採択候補ではないプロポーザルを見て、+-の数を調べる。+が多ければ上位にソート
- 採択候補ではないプロポーザルから「採択をしない」をレビューメンバー多数決で選ぶ

最終的に上位12件を選びました

静岡Pythonコミュニティイベント振り返り Python駿河 Unagi.py

PyCon mini Shizuoka CfPレビュー用プロポーサル一覧 ☆ 四 ◎

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール アドオン ヘルプ 最終編集: 5月31日 (hiroshi sanoさん)

共有

A	B	C	D	F	G	I	J	K	L
1									
2	タイトル	詳細説明	カテゴリ	聴いてもらいたい方のレベル	総合点	最終点	レビュー議論でのコメント	しない選択肢	
3	Djangoで始めるWeb開発の世界 ～Web開発を知らない方に贈る、 Django Girls Tutorialとその周辺の クイックツアー～	## 概要 自動化や機械学習などWeb開発以外に興味があつて 翻訳やコーチなどで深く関わっているDjango Girls T また、2010年12月に出了 Django 2.0 のアーリーバードトキ 様々な産業でディープラーニングが利活用される。本セッションでは、TensorFlow LiteとSTM32マイ	WEB系	All: エンジニア以外も対象					
4	TensorFlow Liteを使った組み込み ディープラーニング開発	話すこと * TensorFlow Lite forマイコン。 データサイエンスをはじめるときにPythonをゼロから ここではノンプログラマーのためのプログラミング!	機械学習、 ディープラーニング	All: エンジニア以外も対象					
5	PythonとKNIMEではじめるデータ サイエンス		機械学習、 ディープラーニング	All: エンジニア以外も対象					
6	自信を持ってコードを書こう～ 「とりあえず動かす」の一歩先へ～	「この書き方でいいのかな...」と不安になることはある Pythonは比較的シンプルな言語です。 プログラミング経験者であれば、簡単なスクリプトの しかし、まずは自分でコードを書き始めよ! 「おわう!	プログラミングノウハウ	Basic: 初学者向け					
7	PythonとRaspberry Piで現場力イ ゼン!	PythonとRaspberry Piを活用して、工場の製造現場で IoT、ものづくり	All: エンジニア以外も対象						
8	RaspberryPiとawsで取り組んだ自 作IoT	とある部品メーカーの企画部門担当者が、工場とIoT、ものづくり 発表者は2018年の業務課題として、世間に普及したり これらのシステムでは、安価にアドオンセンサー セッションでは利用した技術の詳細を説明します。	All: エンジニア以外も対象						
9	unittest.mockを使ってテストを書 こう～モックオブジェクトを使つ てより単体テストの目的に沿った テストについて	単体テストを書く上で、モックオブジェクトという プログラミングノウハウ	Advanced: 経験者向け						
	### 対象となる人： * unittest.mockの存在だけ知っていません データ分析を行うときに一箇所にデータを集めていく	データ基盤	All: エンジニア以外も対象						

レビューの様子

レビューの改善したい

- 重複したときに困るので、トークごとに同じ応募者はわかるといいかも
- レビュー参加者が多ければ持ち点制でもいいかもしれない

レビューはPyCon JPでもminiシリーズでも毎回悩まれているそうです

参考: [プロポーザルのレビューについて — PyCon JP 運営マニュアル 0.1 ドキュメント](#)

予算お金関係

チケット販売

- Connpassで有料チケットを販売することに
- 色々と教わる。。
 - PyCon JP 2019の地域コミュニティの集まり
 - PyCon JP Slackの#event-community

口座を作ろうとする

- 新規口座を作ろうとする
- 事情を説明するも丁寧なお断り 😊

(規約がある) 任意団体なら作れたかもしれない

最終的にどうしたか

- 個人（佐野）のゆうちょ口座で紐づけ
- PayPalビジネスアカウントも同じく

このスキームが良いとは限らないけど、現実的に代表を立てたほうがやりやすい

興行中止保険

COVID19の話の前から一応検討 -> 契約

- 保険の話は2019年の半ばに流行っていたような気がする
- それほど費用はかからなかったので、お守り替わり
- 主に主催者が想定できないトラブル向け
 - 悪天候や交通機関のトラブルを想定

準備してきた物に対しての支出の補填につかえる

契約全体に関する内容	
特約条項	
名称	保険料に関する規定の変更特約条項
その他事務項目	
証券添付別紙	
証券添付別紙	有
補償内容	明細番号 : 00001
被保険者	
被保険者	
★カナ	PyCon mini Shizuoka 2020 ジッコウインカイ ダイヒヨウ サノコウジ
★漢字	PyCon mini Shizuoka 2020 実行委員会 代表 佐野浩士 様
興行の内容	
★興行名称	PyCon mini Shizuoka 2020
☆開催予定場所	静岡県藤枝市前鳥1-7-10
興行種類名称	会議・式典・試験（屋内）
興行の日程	
開催予定日の日数	1日
☆開催予定日（初日）	令和2年2月29日
☆初日開催予定場所（都道府県）	静岡県
補償内容	
補償する危険	悪天候リスクのみ
補償する事故	開催予定日および予備日のいずれかの興行が中止
「補償する事故」における「中止」の定義	興行が全く行われないこと
補償する損害の基準	費用基準

特約条項

名称	テロ危険不担保特約条項
名称	興行中止保険特約条項
名称	悪天候リスクのみ担保特約条項

明細合計保険料

総払込保険料	
--------	--

必要書類

必要書類名	明細番号
証券添付別紙	

ご注意

※ 補償内容の詳細につきましては、普通保険約款およびこの保険契約に付帯される特約条項をご確認ください。事故の内容によっては保険金をお支払いできない場合があります。

※ 興行期間の開始後であっても、保険料を領収する前に生じた事故に対しては保険金をお支払いできず、ご契約を解除させていただく場合があります。

※ 保険料払込みの際は、弊社所定の保険料領収証を発行することといたしておりますので、お確かめください。

プロセスを学べたのはよかったです

予算管理

予算管理は更新があるたびに表でまとめる

参加費やスポンサー費用を決めるときの参考になった

- イベント内容を変更修正するたびに変わるので確認
- 途中で収支状況を見れると安心
- 状況見ながら催し物を考えないと赤字にしてしまうので注意

静岡Pythonコミュニティイベント振り返り Python駿河 Unagi.py

項目	単価	個数	価格	備考	項目	単価	個数	価格	備考
10 コミュニティ参加費でなるべく賄う					コミュニティからの収入				
11 おやつ	¥500	66	¥33,000	西部中部東部の結果を想定しているので、一人500円程度で計算	一般チケット・昼食有り	¥3,000			
12					一般チケット・昼食なし	¥2,000			
13 食事費・提示物等印刷費					学生参加・昼食有り	¥1,000			
14 サイト制作費・デザイン費					学生参加・お弁当無し	0			
15 ノベルティ制作費					スタッフ参加費	¥1,000			
16									
17 弁当代	¥1,000	59	¥59,000		藤枝ICTコンソーシアム	¥2,000			
18									
19 慶親会費	¥3,000	28	¥84,000		慈親会費	¥3,000			
20									
21 PayPal手数料 3000円	¥148	74	¥10,952	一般弁当あり・慈親会					
22 PayPal手数料 2000円	¥112	4	¥448	一般弁当なし、学生がメイン					
23 PayPal手数料 1000円	¥76	7	¥532	スタッフ					
24 PayPal手数料 10000円	¥400	4	¥1,600	パトロン					
25									
26 余剰を割り当てる経費					余剰として割り当てる収入				
27 塗生テープなどの備品					PyConJP 支援	¥30,000	1	¥30,000	フォームによる申し込みが必要。ノベルティとしてPythonステッカーの提供できる。
28									
29									
30									
31 口ゴの制作費	¥50,000	1	¥50,000						
32 キーノートスピーカー交通費									
33 キーノートスピーカー宿泊費									
34 招待トーク交通費									
35 招待トーク宿泊費									
36									
37									

広報関係

広報

- Twitterではハッシュタグ付きでしゃべったり
- 都内/静岡のテック系勉強会で宣伝したり
- チラシを作ったりした

とにかく露出が大事

次は公式Twitterアカウント作ろう

Twitterでの様子

 **Hiroshi Sano** @hrs_sano645 · 2019年12月7日

PyCon mini ShizuokaのCfP応募期間も残すところ1.5日ほどとなりました。
終了は12/8までなので12/8の23:59まで応募OKです。駆け込みお待ちしてお
ります! #pycon_shizu

 PyCon mini Shizuoka CfP応募フォーム
概要 ----- PyCon mini Shizuokaではトークセ
ッションのプロポーザル募集 (CfP, Call for ...
docs.google.com

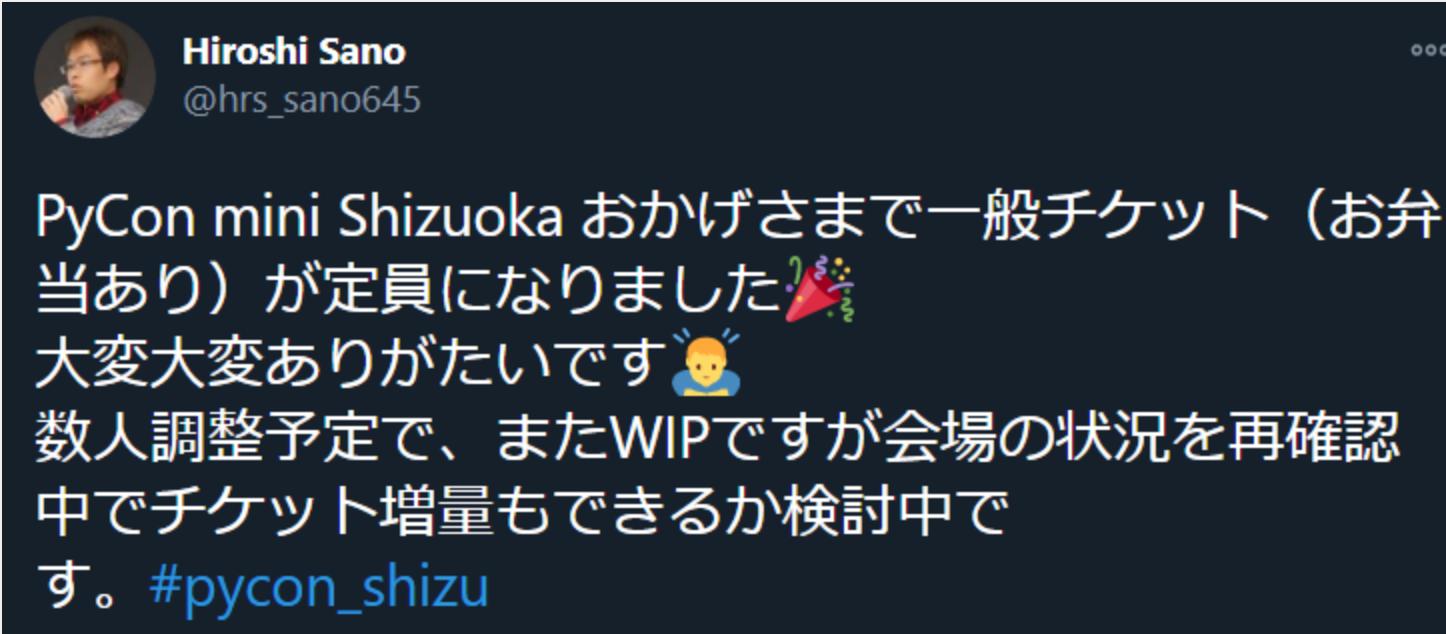
1 2

 **Hiroshi Sano** @hrs_sano645 · 2019年12月7日

PyCon JPブログにPyCon mini Shizuoka開催のお知らせが掲載されました! 🎉
スタッフ総出で準備に勤しんでます。一般参加募集はもうしばらくお待ち
下さい! 🚀

| PyCon JP Blog

Twitterでの様子



Hiroshi Sano (@hrs_sano645) posted the following message:

PyCon mini Shizuoka おかげさまで一般チケット（お弁当あり）が定員になりました🎉
大変大変ありがとうございます🙏
数人調整予定で、またWIPですが会場の状況を再確認
中でチケット増量もできるか検討中です。 #pycon_shizu

イベントの進捗様子も伝える

Twitterでの様子



twitterで見てもらえると当時の様子がわかる

[#pycon_shizu since:2019-10-01 until:2020-02-28 - Twitter検索 / Twitter](#)

PyCon JP方面や参加者皆さんでハッシュタグ使ってもらえてる

勉強会で広報



stapyで広報

Hiroshi Sano (@hrs_sano645) posted a tweet:

告知スライドです。次はjsで発表出来るようにがんばります。PyCon mini Shizuoka #pycon_shizu よろしくおねがいします！！
#shizuoka_js

The tweet includes a link to a Google Slides presentation titled "PyCon mini Shizuokaの紹介 (本当はJS使えるPythonGUIライ...)" which is a summary of the introduction to a Python GUI library that can use JavaScript.

静岡の勉強会でも

チラシ

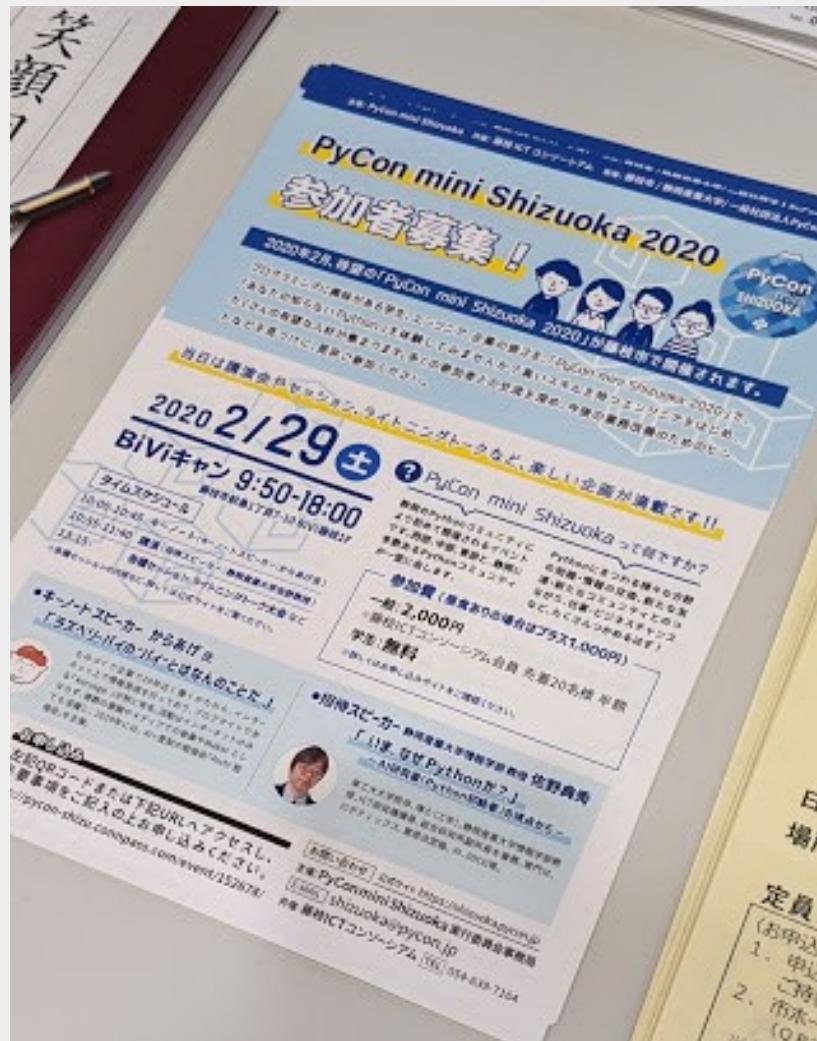
協賛の藤枝ICTコンソーシアムさんの提案で作成

- デザインや内容で結構詰める
- 結構案を作ってもらった
- 大学の掲示板に貼ってもらったり、知り合いに配ったり

チラシは結構大変

- 印刷の都合で納期がある
- 間違えると後で取り返しがつかない
- 効果をちゃんと測定して置く必要

完成したチラシ



オンラインイベント化

オンラインイベントになりました

- 開催日がちょうどCOVID19の流行時期
- 多数のイベント（テック系限らず）が中止や延期
 - この時Droidkaigi 2020の中止がかなりインパクトあった
- スタッフ間でも開催する/しないでだいぶ議論した

mini Shizuokaは最終的に延期にしかけてた

↓

オンライン配信も出始めてきたころなのでチャレンジできるタイミング

オンライン化大変？

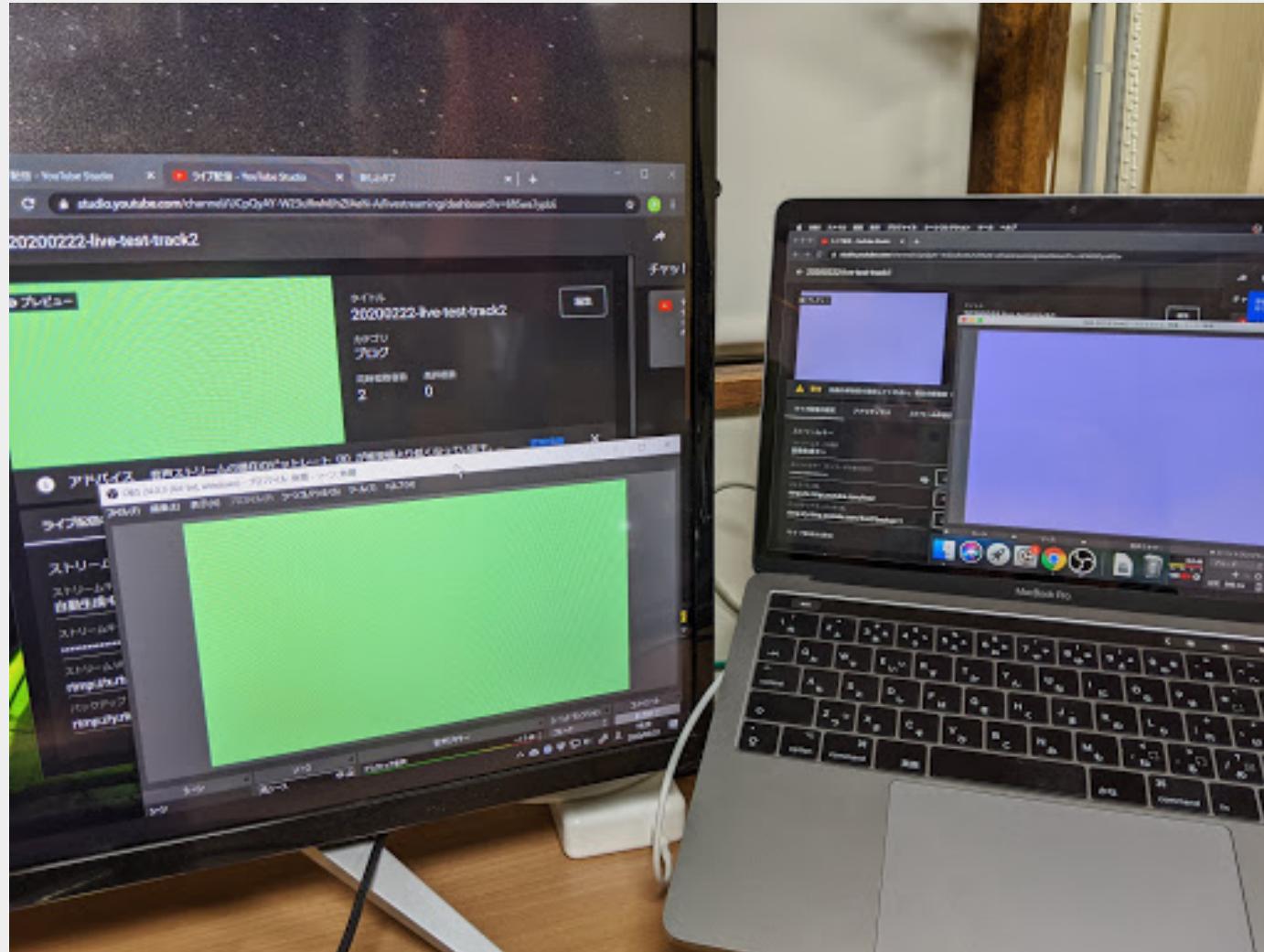
機材さえあれば最低限行けることが分かった

- 普段からGoogle Meetを使ってたのでWEB経由での発表は可能
- YouTube LiveはOBS Studioでできることはわかつてた
- 試してみたら、結構簡単（やるだけなら）

なので、これは行けると思って提案 -> 残り9日ぐらいで準備することに

オンライン化の準備

- 二拠点体制を取る: 藤枝会場/バックアップ
- 機材準備: 当日会場にある設備をお借りできた
- バックアップ準備: 配信止まると終了なのでバックアップを用意
 - 佐野の自室をバックアップ会場にしてた
- YouTube Liveの配信テストを何度か試す



テストの様子

ファイル



(案)_オンライン懇親会



(案)_セッションの進行



PyCon mini Shizuoka 2020



PyCon mini Shizuoka 2020



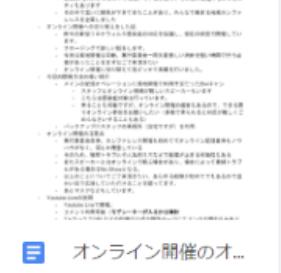
PyCon mini Shizuoka 2020



shizuokalogo.png



Youtube Liveアーカイブ



オンライン開催のオーナー



タイムテーブル



各スピーカーへの確認



配信オペレーション手順



配信オペレーションのパターン



配信に利用する確認



配信に利用する確認

資料も色々と作成

前日

- 機材準備だったけど、数時間しかなかった
- できる限り準備
- この時が一番しんどかったw

当日トラブルったのは準備の甘さが出ていた

当日

トラブルとしては

- 音声系: 音入ってない系はなかなか気が付けない
- 配信切り替え
- プrezンタアプリがちゃんと動いてくれない
- マイク問題 (これはスピーカーも苦労する)

オンラインイベントあるあるトラブルをきれいに踏み抜いていく

当日

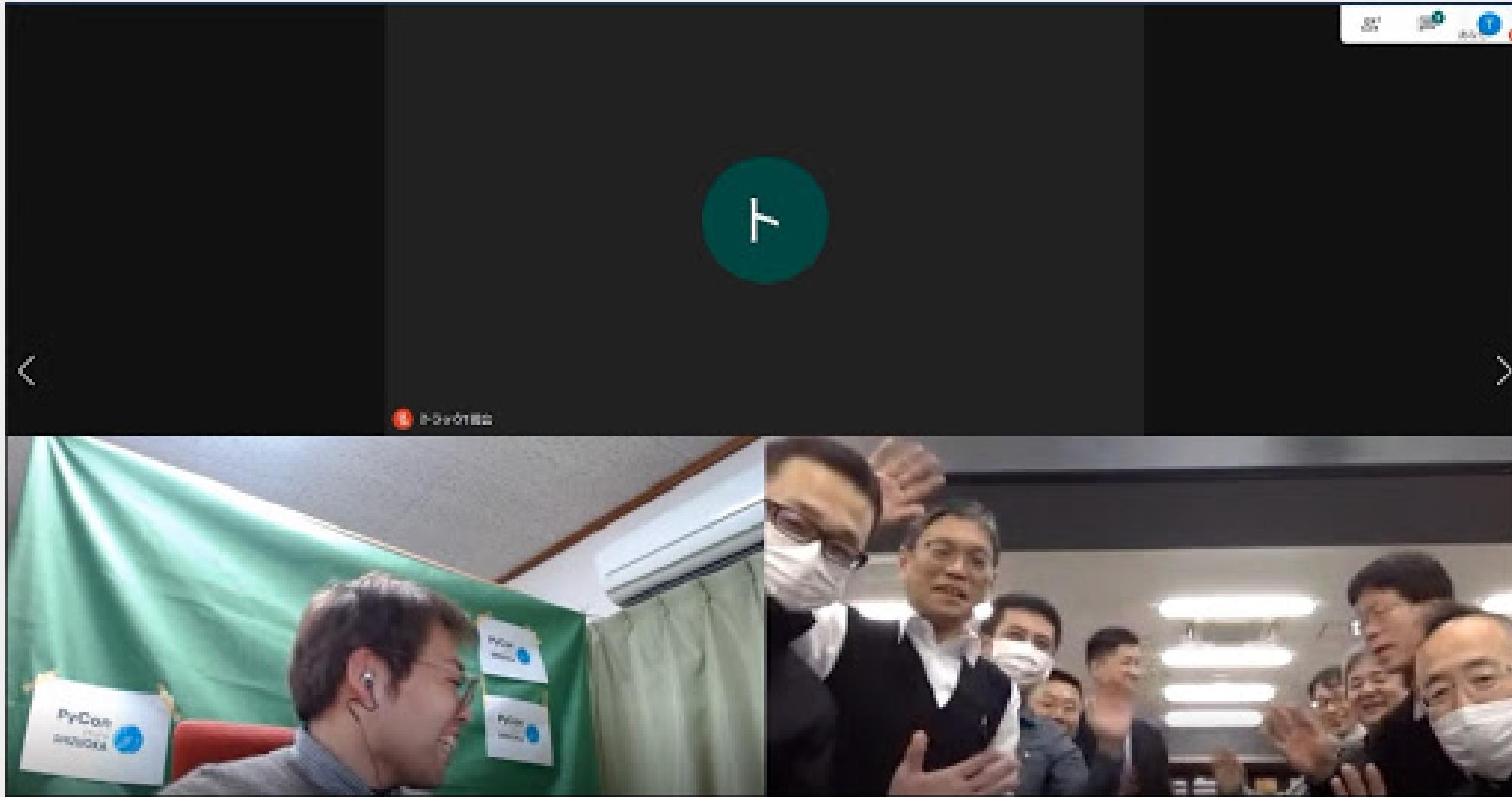
もうやるしかねえと覚悟する

↓

色々あったけど

↓

やり切った



本当にお疲れさまでした！ 😊

終了後の処理

- チケット返金
- 収支報告（PyCon JPに支援してもらったので必須）
 - [PyCon Mini Shizuoka予算収支一覧](#)

赤字にならなかつたのが何より良かった。

パトロンや参加者の方が支援（返金しない選択）をしてもらえたのがありがたかった

まとめ

静岡県でコミュニティベースの大きなテック系イベントは多分初

- 準備はオンラインでできた
- 開催もオンラインも開催してしまった！
- 色々あったけど楽しかったよ！

あのときにカンファレンスができるることは良いこと

次回どうする？

モチベーション

- 技術トークをする機会を提供したい
- トーク見れて良かったなーと、全員が満足できる場づくりを目指す
 - 参加者
 - スピーカー
 - スタッフ！

PyCon mini Hiroshimaがとっても良かった
ラジオというかポッドキャストの実況配信にも近い

次回に改善したいこと

- それぞれの作業でチームを作つてチームでやる
- 締切のものが多いとかなりつらいから仕組みで減らす
- 広報の一本化
- リハーサル重要視しよう
- 2トラックしんどい: 参加者も集中出来ない

次回を考える:案

- 作業負担を減らすため
 - 無料チケット
 - トークの時間を一定（15か20分）、基調講演の依頼は無し
- コンテンツ
 - トークは収録: スピーカーも安心できる
 - 全員で見ながら感想言ったり
 - 運営はスピーカーとパネルトーク

次回を考える:案

- 非同期な参加ができるようにする
 - Slackでコミュニケーションできるようにする
 - DayイベントじゃなくてWeekもやってみる。夜にスタッフの様子を配信するとか
 - クイズ大会（Pyladiesのパーティで楽しかった
 - 各コンテンツをちゃんとアーカイブ化する

続きましてー

PyCon JP 2020 チュートリアル

- 依頼
- 資料作成
- 準備作業の様子
- 当日

PyCon JPと私

- トークしたいなーという憧れの場所
- 2020は実はトーク採択されていた
- けど、もっとすごい話が来てしまう

依頼

PyCon JPスタッフより一報

PyCon JP 2020のチュートリアルに関してですが、今年はオンライン開催というのもあります。

オンラインセミナーの経験もあるPython駿河の皆様にお願いしたいと考えております。

まさかこんな依頼が来るとは...

(想像の斜め上で最初は疑ってたw)

個人的、コミュニティ的にもうれしいこと

意訳: Slackbotハンズオンと開発に使う**エコシステム**な話をしてほしい。

開発工コシステム難しいよ...

マサカリ投げられてしまう...



エコシステムで上がるツール

- pytest: テストケースでもPyCon JPのトークやほかの勉強会でも話題に上がってた
- sphinx: ドキュメント作成では鉄板

3つのカテゴリを扱った理由

- 一応どれも利用の経験がある
 - Slackbotはハンズオンを何回かやっている
- 3つカテゴリともこの先の勉強会ネタでつかえる
- 実際は環境構築の話もしたので4つでした

準備

- チーム: 数名で取り組む
- 自分がアウトラインを描いてレビューしてもらう形にした
 - (ハンズオン資料は自分が所持していたのもあって)

- 作業環境はGitHub issue Board + sphinx + RTD
 - 公開しながら作業
- 実装環境とかはチュートリアルドキュメント見てね

[github: py-suruga/pycon-jp-2020-tutorial](#)

コンテンツの内容

- Slackbotはほぼそのまま
- pytestとsphinxはオリジナル。sphinxは便利さを再確認
- 環境開発としてVS Codeからリンターやフォーマッターも扱う
 - flake8とかblack: この辺はもう当たり前
 - mypyも扱いたかったけど時間足らなさそうだった

順調のつもりが

- 本業多忙で直前に完成
- さらにbotで使ってたAPIが直前で終了するとんでもない事態
 - (1週間ぐらい実装で困ったよ)
- レビュー時間がない中でリハーサル（ほんとごめん

配信環境

mini Shizuokaの反省を元に沼に落ちる機材を買う

- マイク、マイクスタンド
- オーディオインターフェイス
- Webカメラ
- グリーンスクリーン

Hiroshi Sano @hrs_sano645 · 8月30日

#pyconjp 活躍してくれた機材たち。
マイクとスタンドとオーディオインターフェイスが問題なく安定してたのは良かった。ただZoomが落ちたときはヒヤヒヤしていました 😅



...

💬 4 ⌂ ⚡ 4 ⌄ ⌁ ⌂ ⌁

今年買ったもので一番有用だった

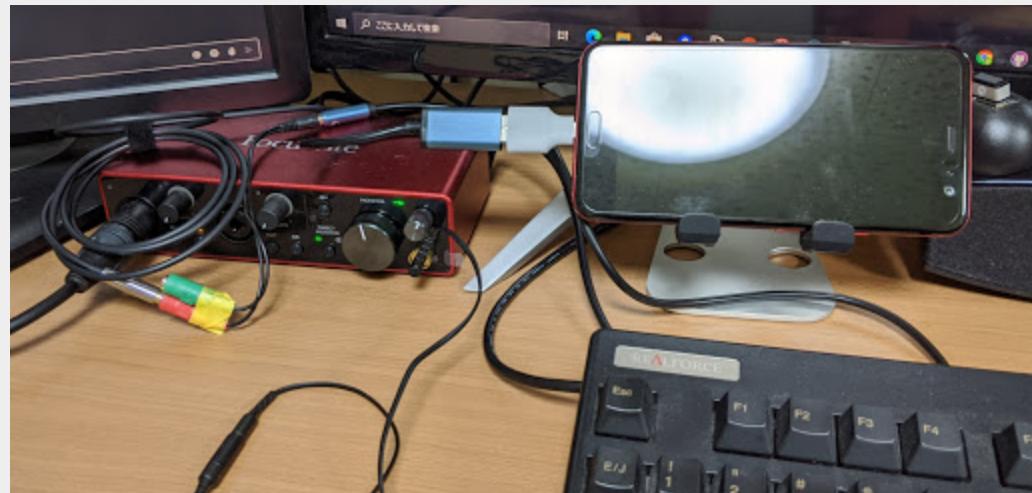
当日

苦労したこと

- 準備された方は半数ぐらい。時間管理難しい
 - 準備情報を流していたけど当日やる方もいる
- 開始当初は最初感覚がつかめなくて戸惑う
- モニター向かいに一人でしゃべるのはさみしい

反応を返してくれる方もいてありがたい

自動文字起こしをやってミタミタ



- 画面を見る方向けに喋りの不明瞭を解決できる?
 - -> 現状だと厳しそう



静岡銘菓を紹介。

もうちょっとネタを入れても面白かったかも

終了後

インタビュー受けたり

アンケート

今回の講演で興味を抱いた方へ投票下さい。
（不満、文選題）

今回の講演の興味を抱いた方へ投票
（不満、文選題）

A bar chart titled '今回の講演の興味を抱いた方へ投票' (Voting for those interested in the lecture). The Y-axis is labeled '票数' (Number of votes) and ranges from 0 to 10. The X-axis has five categories: 'Python基礎' (Python basics), 'Python実践' (Practical Python), 'Python開発' (Python development), 'Pythonデータ分析' (Python data analysis), and 'その他' (Other). The bars show approximately 1 vote for Python基礎, 2 votes for Python実践, 6 votes for Python開発, 7 votes for Pythonデータ分析, and 1 vote for その他.

興味を抱いた方へ投票	票数
Python基礎	1
Python実践	2
Python開発	6
Pythonデータ分析	7
その他	1

今回のチュートリアルも興味を抱いた方へ投票下さい。

- オンラインにいたるまでの準備と流れが分かりやすく説明が出来て分かりやすかった。
- 講師の方もとても丁寧でわかりやすかったです。
- 手順を追って動作を確認できるので、大変に分かりやすかったです。
- 進行が丁寧
- google Colabターミナル画面の操作が難易度高いなあ。初心者には使いづらい感じはありました。スクリーンショットを載せておいてほしいなと思いました。また、AI版が勝手に入力appendされていく点に私が上手いと感じました。
- 他の言語との比較が詳しく理解ができるところ
- 問題を必ず解説一緒に手順を進めるところ、時間と一緒に解説する所缺めてなくて、実際に手を使いながら手順を進めてくれるところ。ドキュメントのチュートリアルよりも操作の流れがつましで感じていただけます。
- 全体から上の方まで理解が難しくあり、途中で挫折感にしおれがちだった
- 初心者の方を対象とした方がうきやすくて理解がしやすかった

[PyCon JP Blog: PyCon JP 2020 チュートリアル振り返りインタビュー 【Slack Bot編】](#)

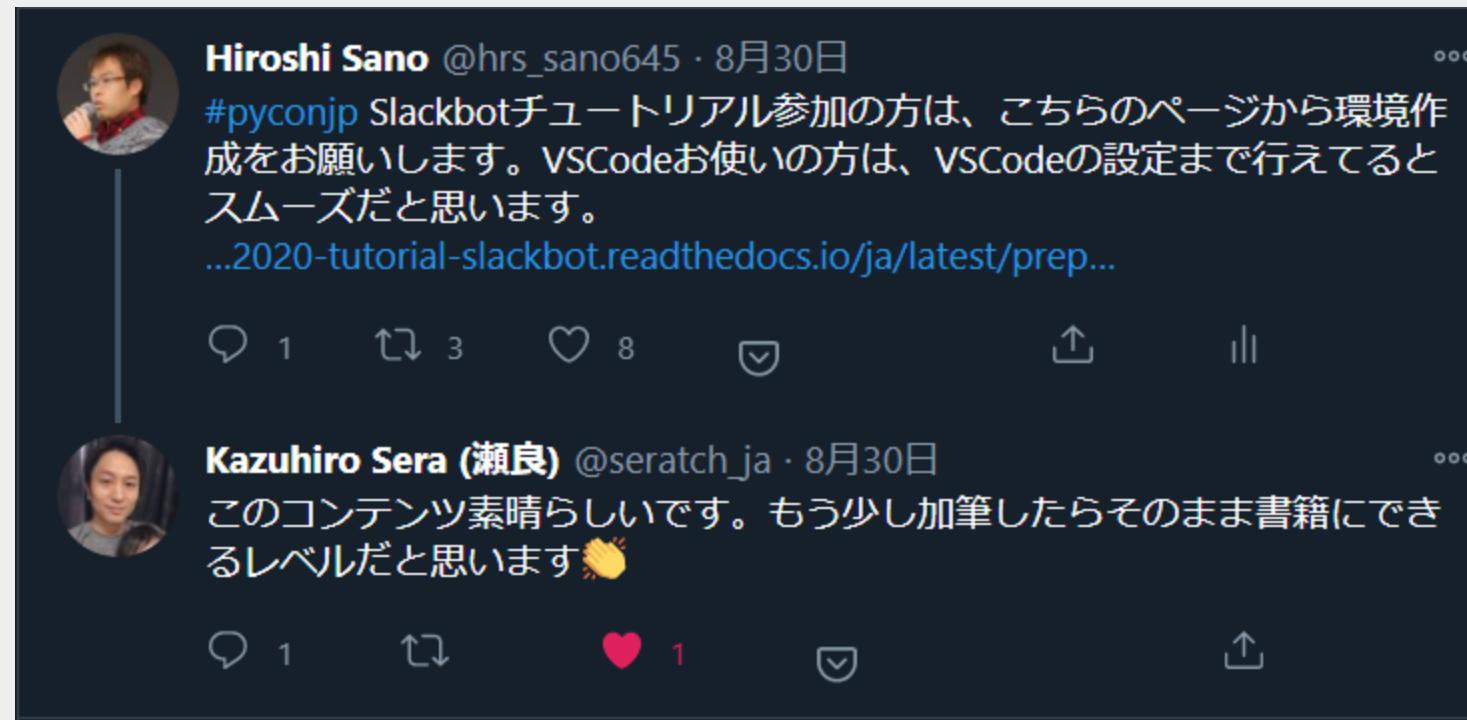
[PyCon JP Blog: PyCon JP 2020 チュートリアルアンケート結果](#)

- アンケートの印象は概ね良かつたらしい。
- pytest微妙だったって話は作った本人も同意

はんなりPythonの会、PyData Osaka、広島のコミュニティの方々
打ち上げ楽しかった！

その後にのみPyなる飲み会開催のきっかけもありました
[のみpy（仮）～Python地域交流飲み会～1回目 - connpass](#)

個人的にうれしかったことといえば



Hiroshi Sano @hrs_sano645 · 8月30日

#pyconjp Slackbotチュートリアル参加の方は、こちらのページから環境作成をお願いします。VSCodeお使いの方は、VSCodeの設定まで行えてるとスムーズだと思います。
...2020-tutorial-slackbot.readthedocs.io/ja/latest/prep...

1 3 8

Kazuhiro Sera (瀬良) @seratch_ja · 8月30日

このコンテンツ素晴らしいです。もう少し加筆したらそのまま書籍にできるレベルだと思います👏

1

Slackの中の人こういってもらえた。書籍化... 😊

まとめ

- 夏場頑張った。当日TA参加お疲れ様でした
- そういうえばpysurugaのSlackbot未完成
 - 年末作っておきます...
- ネタがたくさんできたので、来年は困らない（はず）